

研究助成発表会の開催について

日本健康開発財団では、「温泉・入浴」をテーマとした研究に助成を行っています。

本年度も、その成果を皆さまにご披露する研究発表会を、下記にて実施することとなりました。本年度は 9 件の研究に助成しており、各研究者よりプレゼンテーションを行っていただく予定です。また、当研究所の自主研究の成果の一部も発表いたします。

参加は無料ですが、席数に限りがございますので、ご興味のある方はお早めにお申込みください。お申込みは電子メールにて、タイトルを「助成研究発表会希望」として、所属・氏名をご記入ください。

宛先：info@jph-ri.or.jp

日程： 3月21日(木) 14:00～16:00

会場： 大東文化大学信濃町校舎第1会議室

(東京都新宿区信濃町 34JR 信濃 町ビル：JR 信濃町駅直結)

予定演題：(順不同・敬称略)

(助成研究)

1. 「温浴プログラムによるがんリスク低減の試み」
奴久妻智代子 (株式会社ソアラメディカル)
2. 「放射能泉の利用における被ばく線量評価のためのラドン分析検討及び事態調査」
森康則 (三重県保健環境研究所)
3. 「地域住民の行動変容を目指した温泉資源と地域環境の活用による保養モデルの開発」
村山敏夫 (新潟大学教育学部)
4. 「全身渦流浴が心臓自律神経系調節及び動脈硬化度指標に及ぼす影響」
吉岡哲 (香川大学医学部)
5. 「温水療法がⅡ型糖尿病の治療に有効である分子機序の解明-骨格筋の熱応答反応による身体運動様作用に着眼して」
越中敬一 (新潟医療福祉大学健康科学部)
6. 「足湯が脊髄損傷者の自律神経系機能、循環系機能および免疫系機能に及ぼす影響」
福島利浩 (佐賀大学全学教育機構)
7. 「若年女性における月経前症候群 (PMS) 軽減に及ぼす早朝入浴の影響」
野瀬由佳 (安田女子大学家政学部)
8. 「休日の身体運動と温泉入浴が労働者の心身に与える影響」
志村広子 (独立行政法人国立青少年教育振興機構)
9. 「人口炭酸泉を用いた睡眠への効果の検証と健康増進への提案」
上村佐知子 (秋田大学大学院医学研究科)

(自主研究)

1. 入浴が睡眠の質に及ぼす影響 —睡眠脳波による検討—
後藤康彰・早坂信哉 (日本健康開発財団 温泉医科学研究所)